

西多摩医師会報

第230号 平成4年2月



冬の大岳 石井好明

目

次

	頁		頁
1. 学術		雑記 昭和13年の西多摩医師会の	
糖尿病にみられる胃運動異常		先生方	山田正哉 … 15
について		西多摩の眼科 (その2)	後藤 伸 … 18
福生病院内科 笠井富貴夫 … 2			
2. 理事会報告	広報部 … 5	5. お知らせ・その他 ………………	20
3. 第7回西多摩学校保健連絡協議会		6. 医師会日誌 ………………	24
道又正達 … 6		7. 訃報 ………………	25
4. 文芸随筆その他諸事百般		8. 表紙のことば	石井好明 … 25
俳句 冬	川崎杏童 … 14	9. あとがき	小机敏昭 … 25
回想録 その(十三)	小泉新策 … 14		

学術

糖尿病にみられる胃運動異常について

福生病院内科 笠井 富貴夫

はじめに

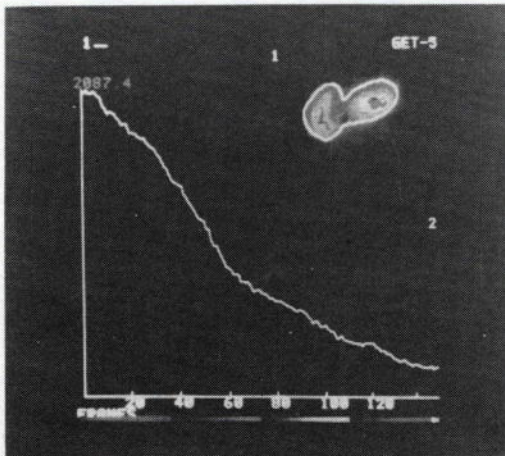
糖尿病患者で罹病期間が長くなると、起立性低血圧、膀胱機能障害、インポテンツ、発汗異常などの自律神経障害が合併してくる。特にインスリン使用例ではこの傾向が強くみられ、内臓迷走神経の荒廃に伴って、胃機能—酸分泌および運動機能の異常がみられる。このうち食物の胃内停滞、胃排出遅延 (Gastroparesis diabetorum; 糖尿病性胃麻痺)¹⁾は、糖尿病治療からみると、カロリー—供給系としての胃排出機能障害のため食後血糖に影響し、血糖コントロール不良の原因となることが予想され、臨床医の注目を集めている。本稿では、自験の成績をもとに糖尿病性胃麻痺の病態について概述する。

固形食、液食からみた胃排出機能

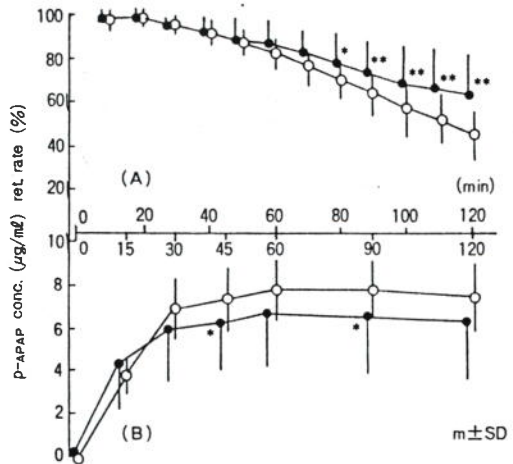
胃内容の排出に関しては、固形食と液食は異なった動態を示すことが知られている。そこで、アセトアミノフェン (APAP) とアイソトープ併用法 (以下、A-R法) により、両者の胃排出能を同時に評価した。A-R法の試験食は^{99m}Tcスズコロイド1.0mCi標識スクランブルエッグを約 100 g、アセトアミノフェ

ン (APAP) 20mg/kgを牛乳 250mlに溶解したものを用い、120分アイソトープ胃内残存率 (R値)、高速液体クロマトグラフィー法で測定した45分血漿APAP濃度 (A値) をそれぞれ固形食、液食排出の指標としている。写真は胃のガンマイメージと関心領域設定で、固形食はこの胃内残存率が低いほど排出良好を意味している。一方、液食に関しては、APAP濃度、特に30分あるいは45分値が液食の胃排出機能をあらわしているとき、この値が高いほど排出良好を意味している²⁾。

糖尿病患者と健常者の胃排出能をA-R法により比較した結果を図1に示す。固形食排出 (上段) では、糖尿病群の平均アイソトープ胃内残存率は健常群と同様、20~30分のlag phaseを認め、以後、ほぼ直線的な下降を示した。糖尿病群では摂取後80分より有意な固形食排出遅延が認められた。液食排出 (下段) は摂取後45分および90分で健常群に比し有意な低下を認めた。



写真



健常者 (—○—) と糖尿病患者 (—●—) の胃排出機能

(A): アイソトープ胃内残存率—固形食

(B): アセトアミノフェン濃度—液食

図1

表 1

胃排出機能からみた糖尿病性合併症

	罹病期間(年)	HbA _{1c} (%)	網膜症(%)	腎症(%)	起立性 低血圧(%)	CV _{R-R} (%)	消化器症状 score			
							平均	N	V	F
I群(9)	4.6±2.6	6.1±0.7	38	13	0	6.3±1.1	0.3	0	0	2
II群(8)	6.4±3.0	6.7±1.1	43	43	14	3.8±0.6	0.4	1	0	2
III群(11)	11.9±5.2	8.0±1.3	80	70	50	2.7±1.1	3.2	12	7	13

N:嘔気, V:嘔吐, F:腹部膨満感 0:症状なし, 1:軽度, 2:中等度, 3:高度

自律神経障害と胃排出能との関係を見ると、糖尿病群において、R値と迷走神経機能の指標である心拍変動係数(CV_{R-R}値;低下は迷走神経機能障害)の間には有意な負の相関がみられ、A値とCV_{R-R}値の間にも同様に有意な正相関を認めた。健常成人の検討から、R値55%以上、A値6.0μg/ml以下をそれぞれ固形食あるいは液食排出低下例として、糖尿病群を3型に分類した²⁾。すなわち、固形-液食とも排出良好なI群(インスリン依存型糖尿病-IIDDM;11%)、固形食遅延-液食排出良好なII群(25%)、固形-液食とも排出遅延しているIII群(64%)である。

これら各群の糖尿病罹病期間、血糖コントロール、網膜症、腎症、自律神経障害の指標として起立性低血圧とCV_{R-R}値、さらに消化器症状のscoreを表1に示した。罹病期間ではIII群で有意に長く、IIDDMで罹病10年ぐらいになると胃麻痺の症例がでてくるものと思われる。血糖コントロールに関しては、HbA_{1c}でみると、II、III群で悪化していた。合併症では、網膜症をIII群で80%に認め、腎症もIII群で高度であった。起立性低血圧は、I群では一例も認めず、II、III群それぞれ14%、50%の症例に認められた。消化器症状に関してはIII群で3.2と高い点数を示し、10例中5例に中等度以上の何らかの消化器症状がみられた。CV_{R-R}値はII群、III群と胃排出が低下するほど迷走神経障害の程度が強くなる傾向にあった³⁾。

以上の結果から、糖尿病患者の胃排出機能は、迷走神経障害の進展に伴い、初期には固形食排出遅延、次いで液食の胃内停滞も加わる。さらに、この胃麻痺現象は血糖コントロール不良の原因となる可能性が示唆された。

胃内酸酵現象

次いで、この糖尿病性胃麻痺がもたらす問題について、知見を示す。胃液中の揮発性カルボン酸をガスクロマトグラフィーで測定し、健常者、胃麻痺あり、なしの3群で比較した。これは即ち、胃内の酸酵現象をみることになる。カルボン酸総量では胃麻痺群において明

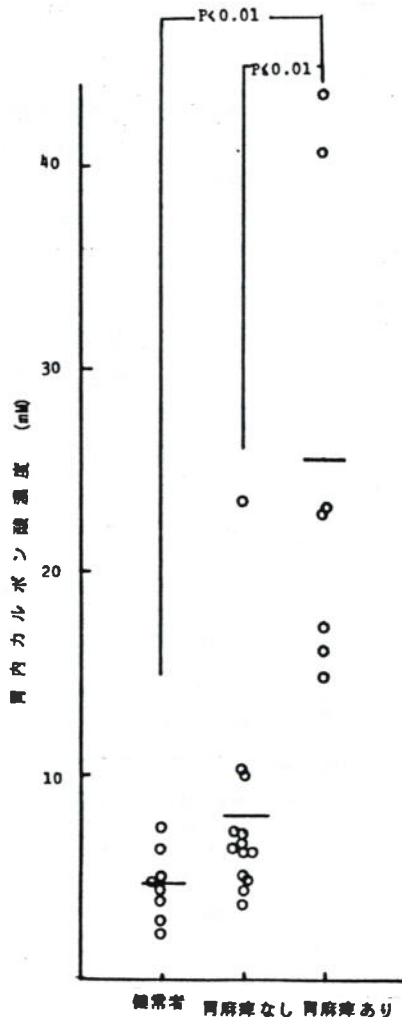


図 2

かに高値を示した(図2)。また、酸分泌では麻痺群で胃内pHが高く、BAO、MAOとも明かに低下で胃酸分泌低下を示していた。

したがって、糖尿病性胃麻痺患者では、胃内醱酵現象が認められ、この原因としては醱酵の材料となる食物残渣の存在および胃内低酸といった好条件の存在が考えられた。さらにガス産生は腹部膨満などの消化器症状を引き起こす原因となるものと思われた⁴⁾。

胃排出と血糖の変化

胃運動能亢進薬で胃排出改善が見られたIDD M症例において、胃排出改善前後で血糖および遊離インスリン濃度の変化を比較した。IDD Mでは食事摂取にともなう自己のインスリン分泌がほとんど存在しないため、皮下注後のインスリン吸収効率と摂取カロリーで血糖が動くといったモデルを想定した。図3に示すように、血糖上昇度は薬剤治療前の平均(closed circle)では食後15分に血糖の下降を認めたが、胃排出の改善によりこの下降もなくなり、食後60分以降、有意な血糖の上昇がみられた。一方、遊離インスリン上昇度には胃排出改善前後で有意差を認めず、胃排出が食後血糖を制御する重要な因子であることが理解された。また、血糖日内変動を前後で比較すると、日中のコントロールが良くなる傾向を示し、M値においても有意な改善を認めた(図4)⁵⁾。

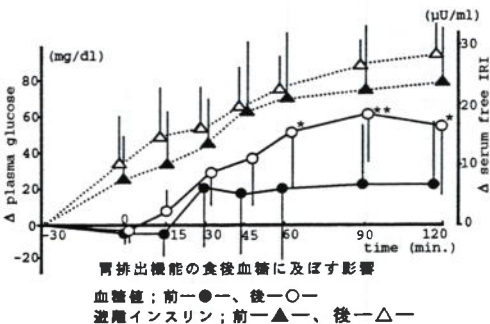


図3

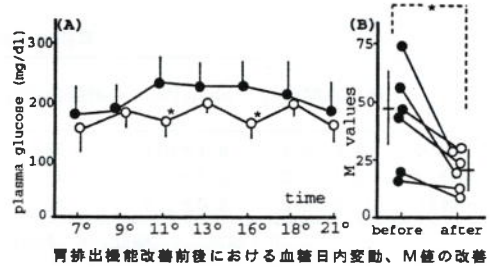


図4

消化管を介した血糖上昇機構としては、さまざまなものがあるが、胃排出はこれらの一部で、糖尿病では胆膵機能も含めた消化管全般にわたる機能異常が起こっている可能性がある。結局、糖尿病性の合併症として、このような問題が起こると、血糖コントロールはさらに困難となり、もどって、これらの消化管機能異常を増悪させるといった悪循環が糖尿病の進んだ時期に起こってくるのではないかと考えられる⁶⁾。

文 献

- 1) Kassander P: Asymptomatic gastric retention in diabetics (gastroparesis diabeticorum). *Ann Int Med.* 48:797-812, 1958
- 2) 笠井富貴夫: 糖尿病患者の胃排出機能に関する研究—アセトアミノフェンとアイソトープ併用による液食—固形食同時測定法—. *弘前医学* 42:1-13, 1990
- 3) 笠井富貴夫、石井正孝、他: 糖尿病にみられる消化管運動障害. *Pharma Media—特集消化管運動の臨床—* 6(11):65-69, 1990
- 4) 中村光男、今村憲市、他: 糖尿病性胃麻痺患者の胃内揮発カルボン酸濃度. *医学のあゆみ* 141(6):339-340, 1987
- 5) 笠井富貴夫、中村光男、他: インスリン依存型糖尿病における胃排出機能の食後早期血糖変動への影響. *糖尿病* 34(3):219-226, 1991
- 6) 後藤由夫: 糖尿病の合併症. *日内会誌* 74:1635-1651, 1985

理事会報告

平成4年1月21日 西多摩医師会館

議事録署名人 { 進藤理事
田代理事

議題

A. 報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告

西村会長

1) 都医からの伝達事項

(1) 大腸がん検診について

国における大腸がん検診の「郵送法による検体回収に対する考え方」は検査の精度が下がるので原則として行わない。

(2) 都立学校産業医について

2月末までに郵送すること。

(3) 老健法等の一部を改正する法律の施行に関する省令告示について

(4) 病院・診療所管理者の意識調査の実施について

東京都衛生局より東医会長へ依頼される。

2) 協議事項

なし

3) 地区医師会からの報告

世田谷医師会より都立松沢病院一般科の件その外

2. 自治体首長代表との昼食会報告

松原副会長

1月13日午後1時より青梅福祉会館にて首長代表田辺青梅市長、田中五日市町長と医師会より会長、副会長、林総務、唐橋学校医、大堀公衆衛生部長出席の上、校医手当、予防接種料金、老健法検診料等の確認が行われた。

3. 平成4年新年賀詞交歓会報告

進藤理事

“西多摩医師会新年賀詞交歓会”を終えて

寒気団の南下に伴い、寒さが一段ときびしくなった1月18日(土) 青梅福祉

センター“ふよりの間”にて、恒例の西多摩医師会新年賀詞交歓会が、略定刻通り、エレクトーンの奏でる軽快なメロディーに乗せて、野本先生の名司会により、オープニングセレモニーは開始された。

西村会長の挨拶に始まり、来賓各位の祝辞及び紹介があり、引き続き青梅保健所長の乾杯で、一同元気良く唱和し、宴は和やかに始められた。

会場にはエレクトーンが、その間隙を縫うが如く、高く、低く流れ、あちらこちらで歓談笑談の光景が見られ、出席者相互の親睦はいやが上にも高まりました。

やがて30分近く経過した頃、司会者の声で、歌手及びピアニストの簡単な経歴紹介があり、続いて、シャンソンの歌声が、会場一杯に流れ、そのボリュームにしばし我れを忘れ、魅了させられました。

歌声に酔いしれているうちに、やがて終宴も間近かとなり、星先生の手じめに引き続き、松原副会長の閉会の辞で終りを告げ、全員それぞれの余韻を残し、会場を後に帰路につきました。

4. 学術部委員会報告 宮川理事

5. その他

① 12月18日(水)(都庁)

平成3年度に新たに特殊疾病(難病)と認定された

①特発性大腿骨頭壊死症

②進行性核上性麻痺

についての講演会が行なわれ出席した。

② 平成3年度第4回目の難病調整委員会を12月20日(金)に福生保健センターで行なった。

③ 12月25日(水)西多摩地域では平成4年1月から3才児健診時に聴力健診もあわせて行なうことが決まった為、3才児健診担当者に対する説明会を福生健康センターで行なった。

B. 報告承認事項

(1) 入会会員について 林 理事

— 承認 —

- (2) 平成3年度各部事業報告の総会提出時期変更について 林 理事
3月総会は事業経過中なので5月総会に提出したい — 承認 —

C. 各地区医師会長との協議事項

1. 役員改選について

秋川より植田稔先生、奥多摩より川辺隆道先生、松原村より内田萬次先生が出席され、討議の結果、

- (1) 上記の各先生及び五日市の明田川先生、日の出の川崎先生を地区長と認め、監事と医道審議会委員の選出作業に入

ること。

- (2) 理事数に関しては、4市4町1村に各1名を、残りの6名については2月10日の理事会にて地区定数を決めること、以上の2点が承認された。

D. 協議事項

1) 「医療懇」話題について

- 2) 平成3年度定時総会迄の日程について 別掲

理事会終了後「医政連」関連奥多摩町長選挙の報告が松原委員より行なわれ、古屋泰司氏を推薦することに決定した。

第7回西多摩学校保健連絡協議会

平成3年12月2日(月)午後1時30分五日市役場3階会議室にて行われ、学務課長岡田利雄氏による司会進行で始められた。西村西多摩医師会長の学校保健に対する暖かい来賓挨拶のあと『定期健康診断-視力の実態』(資料別掲)という研究課題について田之倉順子養護教諭が地区代表として発表されました。先生本人はもとよりデータ収集に忙殺され大変ご苦労されたサークルの先生方を盛会の蔭に思い浮べ感謝致して居ります。また今回は、特殊な領域だけに五日市町教育委員会のメンバーと協議して出席予定者に当日の資料(医師会学校医部の参考資料も含む)を前もって郵送して理解を深めようとした意図は会議に出た雰囲気では良い効果があったと思います。

研究発表後の質疑には眼科専門医として出席を快諾された真鍋理事、馬詰学校医委員の両先生が中心となり何回となくマイクを握って現場に立つ養護の先生方の真剣な声に懇切丁寧な説明やアドバイスがあり大変意義ある貴重な時間を委員の一人(名簿別掲)として共にした事を光栄に思います。尚、視力の定期検診について専門医の加筆をお願いします。

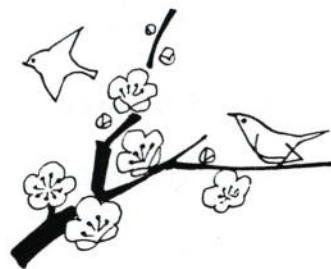
学校医部 みちまた

追記 眼科医の立場から

視力検査は専門医にとっても極めて難しい検査ですが、ましてや多くの学童の検査結果をこうしてまとめられたことにまず敬意を表します。出来れば、今回の発表のみに終ることなく、継続して統計処理されることを希望しますが、統計を取る前の問題として、視力表及び検査法の統一をまず考えなければならぬと思います。まちまちの条件で行っていれば結果そのものにも大きな影響が出るのは必然です。

この点器具の統一、検査基準の徹底などは行政の方々や教育委員会の方々にも是非御理解と御協力をいただきたいと考えます。

真鍋



資料 (1)

「 定期健康診断

— 視力の実態 —

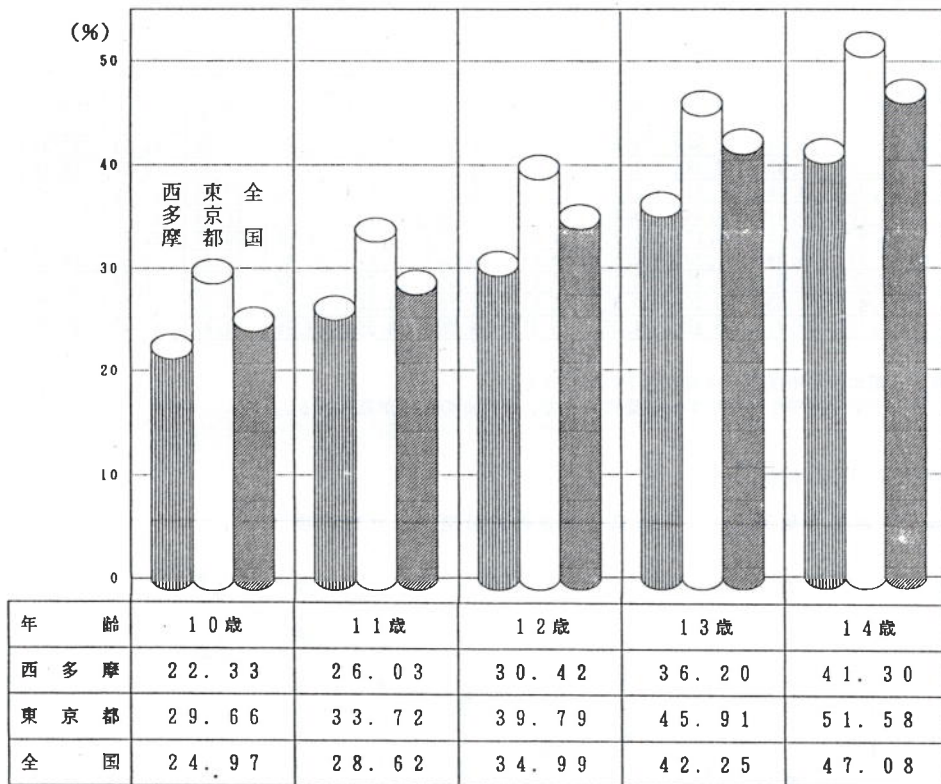
(秋川市・日の出町・檜原村・五日市町地区小・中学校養護教諭)

I. はじめに

文部省が出している「学校保健統計」によると、近年児童・生徒の視力低下が著しいという傾向にあります。この統計では、西多摩地区（青梅市・福生市・秋川市・西多摩郡町村）を1つにまとめたデータはないため、今回、平成2年度における各市町村のデータをもとに、全国・全都と西多摩地区を比較し、その実態について報告いたします。

II. 西多摩地区の児童・生徒の視力の実態（平成2年度定期健康診断の結果より）

(1) 西多摩郡・東京都・全国の比較（10歳～14歳までの視力1.0未満の者：％）



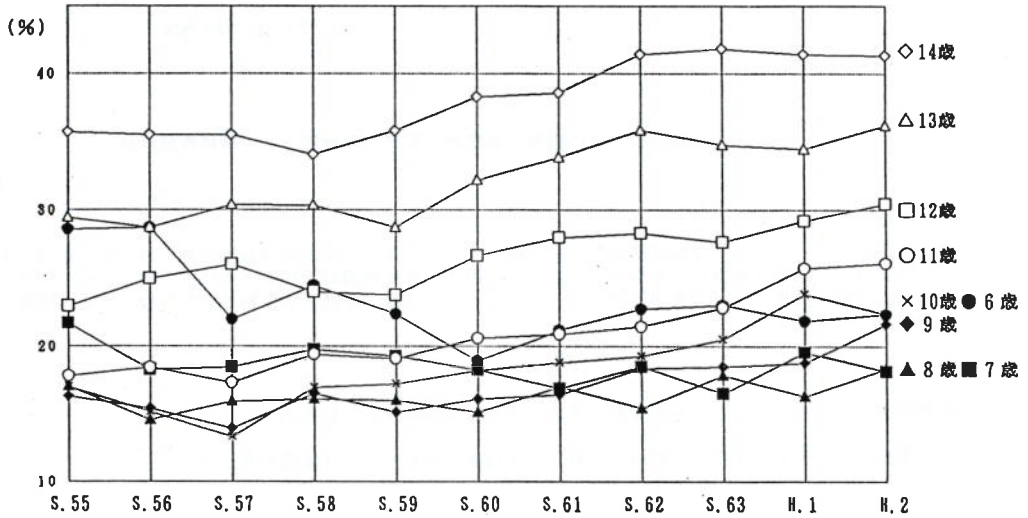
① 傾向としては、都・全国と同じように年齢とともに視力低下の傾向がある。

② 都平均と比べると、約7～10％下まわっている。

(考察) 生活様式はほとんど区内と変わらないが、生活環境の違いからくるのではないかと考えられる。(たとえば、住宅の広さ、自然環境などに恵まれているからか)

資料 (2)

② 視力低下 (1.0 未満) の者の年度別・年齢別推移

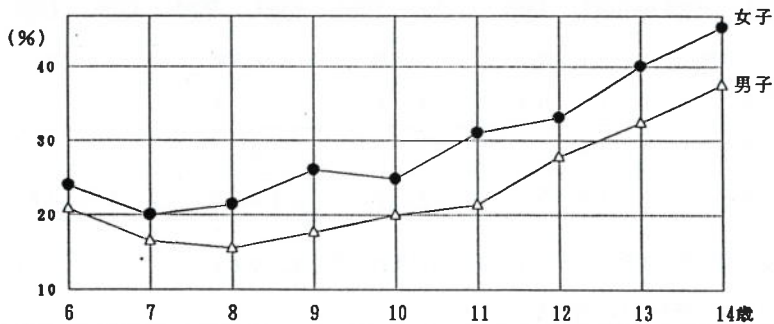


年度 年齢	S-55	S-56	S-57	S-58	S-59	S-60	S-61	S-62	S-63	H-1	H-2
6	28.51	28.64	21.94	24.41	22.33	18.87	21.13	22.68	23.00	21.83	22.31
7	21.63	18.23	18.38	19.73	19.21	18.19	16.85	18.45	16.46	19.54	18.12
8	17.04	14.58	15.91	16.06	15.97	15.09	16.98	15.39	17.81	16.29	18.32
9	16.26	15.41	13.94	16.47	15.12	16.08	16.40	18.31	18.43	18.71	21.59
10	16.97	15.16	13.32	16.92	17.17	18.13	18.74	19.25	20.47	23.79	22.33
11	17.77	18.39	17.29	19.37	19.04	20.55	20.87	21.40	22.77	25.65	26.03
12	22.90	24.91	25.95	23.95	23.67	26.56	27.89	28.24	27.56	29.14	30.42
13	29.40	28.63	30.36	30.32	28.65	32.20	33.84	35.83	34.78	34.46	36.20
14	35.70	35.47	35.49	34.05	35.77	38.26	38.56	41.39	41.82	41.40	41.30

(考 察) 昭和59年度頃から視力低下の傾向がある。
小学校5年生から中学校生徒にかけて、特にその傾向が見られる。

③ 加齢とともに見られる増加傾向

平成2年度視力低下 (1.0 未満) の者の年齢別・男女別推移



年 齢	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳
男 子	20.86	16.53	15.48	17.65	19.97	21.36	27.74	32.47	37.53
女 子	23.90	20.00	21.35	26.00	24.80	31.05	33.18	40.14	45.39

(考 察) 視力低下の年齢別・男女別推移を見るとどの年齢にも女子の方が高い数値をあらわしている。

資料 (3)

Ⅲ. おわりに

- ・ 自然治癒傾向の少ない疾患なので、タイムリーな保健指導が必要と考えられます。
各学校での取り組みとして、視力検査終了後、結果を家庭に知らせるとともに、保健だよりなどで、視力低下についての予防や健康管理についての指導をすすめています。
- ・ 今回の研究において、女子に視力低下の頻度が高いのはなぜなのか、疑問が残りました。



田野倉順子養護教諭



資料 (4)

資料

平成2年度 地区別統計
(年齢別・男女別 視力1.0未満及び0.3未満の者の割合)

〈 青梅市 〉

年齢	男 子					女 子				
	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%
6	819	196	23.9	1	0.1	760	194	25.5	0	0
7	799	182	22.8	3	0.4	708	177	25.0	1	0.1
8	840	160	19.0	3	0.4	778	194	24.9	2	0.3
9	778	161	20.7	4	0.5	815	241	29.6	4	0.5
10	826	171	20.7	3	0.4	806	219	27.2	3	0.4
11	822	181	22.0	6	0.7	890	309	34.7	14	1.6
12	847	236	27.9	1	0.1	813	254	31.2	23	2.8
13	920	302	32.8	3	0.3	867	337	38.9	7	0.8
14	964	347	36.0	3	0.3	908	393	43.2	10	1.1

〈 福生市 〉

年齢	男 子					女 子				
	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%
6	349	55	15.8	0	0	317	71	22.4	0	0
7	352	39	11.1	0	0	321	54	16.8	0	0
8	312	45	14.4	0	0	308	59	19.2	0	0
9	343	65	19.0	0	0	316	80	25.3	0	0
10	331	89	26.9	0	0	319	75	23.5	0	0
11	341	77	22.6	0	0	340	103	30.3	0	0
12	345	110	31.9	0	0	334	127	38.2	1	0.3
13	322	114	35.4	0	0	356	160	44.9	0	0
14	334	137	41.0	0	0	341	173	50.7	3	0.9

資料 (5)

〈 秋川市 〉

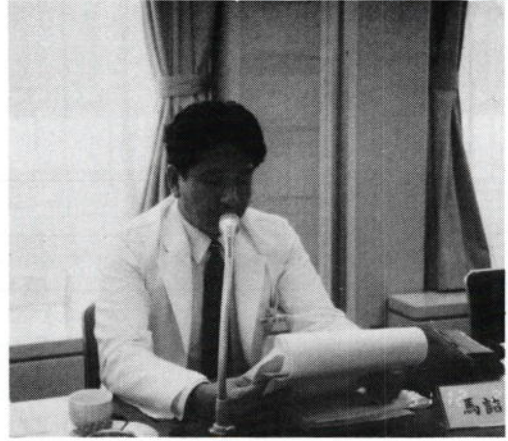
年齢	男 子					女 子				
	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%
6	333	77	23.1	0	0	258	86	33.3	0	0
7	288	33	11.5	0	0	246	40	16.3	0	0
8	294	37	12.6	0	0	319	58	18.2	0	0
9	307	50	16.3	0	0	291	77	26.5	0	0
10	326	69	21.2	0	0	346	77	22.1	0	0
11	358	78	21.8	0	0	313	100	31.9	0	0
12	371	109	29.4	12	3.2	364	115	31.6	23	6.3
13	390	132	33.8	15	3.8	350	141	40.2	17	4.9
14	446	172	38.6	30	6.7	379	166	43.8	20	5.3

〈 西多摩郡町村 〉

年齢	男 子					女 子				
	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%	受診者数	1.0 未満	%	0.3 未満	%
6	819	156	19.0	0	0	819	163	19.9	0	0
7	908	134	14.8	0	0	760	135	17.8	0	0
8	880	118	13.4	2	0.2	778	155	19.9	2	0.3
9	884	132	14.9	1	0.1	866	187	21.6	3	0.4
10	986	164	16.6	0	0	866	209	24.1	2	0.2
11	1,031	209	20.3	2	0.2	837	227	27.1	6	0.7
12	960	245	25.5	38	4.0	948	320	33.8	27	2.8
13	1,007	309	30.7	44	4.4	926	365	39.4	34	3.7
14	1,075	402	37.4	57	5.3	974	449	46.1	68	7.0



真鍋先生



馬詰先生



左より 東先生、湯川先生、吉野先生



西村先生 (左) と筆者 (右)

平成3年度西多摩学校保健連絡協議会委員名簿

教育委員会・小中学校

区分	教育委員会		小・中学校長代表		小・中学校養護教諭代表		備考
青梅市	学務課長	吉崎和雄	青梅第一小	宿谷清治	青梅第三小	松井凌子	
			吹上中	蛭田容之	泉中	圓城寺順子	
福生市	学務指導課長	安藤昭二	福生第二小	翠川好道	福生第二中	茂呂なおみ	
秋川市	学務指導課長	渡辺俊夫	秋多中	志村秀男	東中	来住野みほ子	
羽村市	学務指導課長	宮下英雄	松林小	高林泰彦	松林小	浦崎暁子	
瑞穂町	学務課長	平田蓮治	瑞穂第一小	亀田宏	瑞穂第一小	田中紀久美	
日の出町	学務教育課長	嶋崎明	本宿小	星野龍男	本宿小	山田昭子	
奥多摩町	学務教育課長	木村征一	小河内小	南芳武	古里中	工藤直美	
桧原村	教育課長	野口谷夫	桧原中	八坂通	桧原中	田中文子	
五日市町	学務課長	岡田利雄	小宮小	栗原瞳	小宮小	田之倉順子	

西多摩医師会学校医部

理事	道又正達	道又医院 (福生市)	委員	瀬戸岡俊一郎	瀬戸岡医院 (秋川市)
"	唐橋善雄	青梅厚生病院 (青梅市)	"	東吉男	東医院 (羽村市)
委員	内田萬次	桧原診療所 (桧原村)	"	百瀬真一郎	百瀬医院 (青梅市)
"	馬詰良比古	馬詰眼科 (福生市)	"	山田登	山田耳鼻咽喉科 (羽村市)
"	奥野広子	はこねがさき眼科 (瑞穂町)	"	湯川文朗	湯川医院 (日の出町)
"	川辺隆道	川辺医院 (奥多摩町)	"	横田博	横田小児科医院 (秋川市)
"	栗原琢磨	栗原内科整形外科医院 (五日市町)	"	吉野住雄	吉野内科医院 (青梅市)

ても、結極は優勢に圧倒した側の主張が通る。今次の湾岸戦でも以前の幾つかの戦乱でも、戦勝國が自國の側に立って裁判して行くようでは、今後も『ダイオキシン』に瀑されて焼土化しても裁判は眞實の判定の出来るような、地球上の各國の勢力圏は規制されていくことは恐らく不可能であらう。だから被爆日本の終戦前の戦況のような無差別な襲撃が、列車であらうが、学校であらうが、人影さえ見れば襲うという人道的社會が無視される。それが、我々の後世に、遺訓とすべきではないか。勿論東洋には孔孟の訓示があらゆる生活の根底にあるので、そんな形の競争ごとにはついていけない。東京裁判をやったものが、朝鮮動乱にも、ベトナムにも頬被りである。東京裁判のことは、私の友人の二日後処刑されるのが決り、一方的の主張で決定した処刑を急に解除され、理由も示さず放免され、覚悟して居た家へ単独で帰って行った。家族は幽霊ではないかと、暫次啞然とした。後からも放免の理由の公表もないようである。朝鮮動乱もベトナム戦乱もまだ裁判の実施されよう話を耳にして居ない。湾岸戦争はどうするのかPKOにのみ耳をかして國內で騒ぐよりも、先きから先きにの原則樹立を主張して見ては如何なものかな。私の發言は無差別に人家も、軍施設も、又戦闘員か一般住民かもかまわずに列車と云はず学校と云はず人影さえ見れば襲撃する。こんな思想が、國民が、平然と文明國家として旗を振って居り、それにまだ唯々として、ついて行かざるを得ない。

情けなくなる。今軍慰安婦の問題が新聞紙上問題となって居る。当時の國の法規施政の中でのことである。國內でも職業が公認されて居たころのことである。是非論は別として事實であったことはその通りである。日本軍は軍規は厳肅であった。その実例の一つ人切り佐藤（曹長）のことを記すとす。私が金壇城内で病院開設中のこと、四軒前方の「下部河」が最前線で、附近の「函山陣地」への電線が屢切断される。附近にある「長湯湖」の敵勢物資の輸送時にきまって切られることの情報を得たので、輸送物資の捕獲、潜ませてあった兵器をあげ輸送用筏の孟宗竹を民間へ極めて低額で拂ひ下げ、これで得た資金で金壇城内に小学校八校、中学校二校、病院一つを開設し、その維持費にこれを当てたことが非常に好評となった。このため県知事「馬」氏と親交が出来、民情を手にとる如く内報してもらえたのである。こんな形に情景が変わってからは「人切り佐藤の虚報」は自然消滅して行き、行き交う住民が、必ずと云ってよい程（チツコン）して行くようになった。チツコンとは支那語で敬礼である。敬意を表して挨拶することである。今後の國際勢は亜細亜の団結して隆起して行く時勢が、通りつつある感を深くする。孔孟の思想を根底として、考えて見ては如何かである。私の七年有終年間の日本軍の戦況の中に今次の如き無差別な動乱行為は一度も眼にしたことがなかったことを改めて断言しておく。

雜記

昭和13年の西多摩郡医師会の先生方

山田正哉

昭和13年頃には、中央線に三鷹駅（T15・5）、国立駅（T15・4）が新設されて浅川駅（現在の高尾駅）まで電化され（S5・12）、更に甲府駅まで電化（S6）されていた。青梅線には昭和前（現在の昭島駅S12）、河辺駅（S2・4）東青梅駅（S7）、楽々園（S3・4前回の記載を訂正する。後に三

田村駅と改名され現在の石神前となる）が新設されて御岳駅まで開通（S4・3）した。一方五日市線は拝島、武蔵五日市間が（T14・4）開通し蒸気機関車が走り、その後拝島、立川間（S5・12）に青梅線とは別路線として、上河原、郷地を経て現在の立川駅南武線ホームに接続し、全線を蒸気機関車の他に40

人乗りのガソリンカーが走っていた。また、八王子、飯能間に八高線（S6）が開通して、その後飯能、高崎間（S9）が開通し、日本海側より太平洋側に軍隊を輸送する最短距離路線となった。昭和6年当時の東京市長永田秀次郎氏が小河内村に東京水道貯水池設置計画を発表し、昭和10年小河内村民が貯水池設置反対デモを府庁に実行したが、昭和12年小河内貯水池工事が起工し、昭和13年11月に小河内ダム起工式が挙行された。当時の流行歌“湖底の故郷”がポリドール・レコードより発売され東海林太郎氏の美声によって一世を風靡し映画化もされた。

昭和12年7月7日芦溝橋に於ける一発の銃声により支那事変が勃発し、その後北支、中支、中支へと戦線は拡大し、遂には第2次世界戦争にと発展したことはご存知のことと思う。

彼様な支那事変が次第に拡大される情勢下で、召集令状（赤ガミ）により郷土を出発する出征軍人は軍歌日本陸軍、露営の歌声に送られて戦線に向う人が増加する一方街には千人針を縫う女性の姿或は前線に慰問文、慰問袋を送る愛国婦人会の姿が見られるようになった。

戦線が拡大するに従って、西多摩医師会の先生方にも召集令状が来て、軍医として召集されたりまた軍医候補生として入隊する方が増加した。第2次世界大戦に昭和16年12月8日突入するにつれて、学生の兵役免除は無くなり学徒出陣となり、医学部の平年繰上げ卒業が始り、昭和16年12月の繰上げ卒業から終戦迄実施され、軍医として召集されて行った。

彼様な下地となった昭和13年当時の西多摩医師会の先生方、当時の役員や委員を記載し、前回同様私のご存知申し上げてた先生のお姿を前回記載した方を除いて記載したいと思う。

- | | |
|----------|------|
| 小河内村川野 | 野村喜裕 |
| 氷川村氷川162 | 川内英雄 |
| 氷川村氷川177 | 川辺 晃 |

川辺隆道氏の父上で、体格の立派な先生で非常にお酒の好きな方であった。日本酒も冷

やで飲まれよく理事会の席でもお茶より冷やの Copp 酒を飲まれたお姿が思い出されます。余り体格が立派なので医師会ではダンプと云うニックネームで呼ばれていた。ご子息様がお帰へりならない頃よく私に話されたことがある。私が卒業後15年以上も戻らず好きなことをして来た関係か、医師会の理事会の時、総会の折などこの件に就いてお話をしたことがある。先生必ず黙ってても戻りますよとお話すると、そうかなと頷かれたお姿を今でもハッキリと覚えています。

- | | | |
|--------------|--------------------|-------------------|
| 氷川村氷川134 | 東京市貯水池建設事務所
診療所 | 佐藤龍之助 |
| 三田村沢井上分207 | | 福田 実 |
| 吉野村下1227 | | 鈴木隆之助 |
| 吉野村抽木642 | | 中村重四郎 |
| 成木村上成木下分1355 | | 鴨下芳文 |
| 霞村藤橋10 | | 百瀬眞澄 |
| 青梅町青梅252 | | 大河原由蔵 |
| 青梅1280 | | 近藤藤三郎
(近藤 肇氏父) |
| 青梅151 | | 三枝欣二郎
(三枝 進氏父) |
| 青梅58 | | 笹本義広 |
| 青梅66 | | 進藤利定 |

進藤淳氏父で、先生は福生市で開業されておられた社団法人西多摩医師会初代会長横田寿照先生と慈恵でクラスメートであられ、昭和5年青梅市に進藤外科医院を開業され、昭和13年支那事変に伴って召集され、北支、中支、南支と転戦され、第2次世界大戦終戦後昭和22年無事に帰還されて再び医療に従事される傍ら医師会役員、西多摩青色申告会々長、ロータークラブ会長、青梅医師会、青梅三師会々長などの役職につかれ、昭和48年老人福祉を目的された大久野老人病院を設立されて医療に献身されて、昭和63年9月満90才の天寿をまっとうされた。

先生は礼儀正しい方で、温厚で常に若い吾々を心からご指導下され、私など今になって先生の日常のお言葉の重みをつくづく感じています。

青梅町青梅241 元田謹四郎
 青梅369 鈴木達三
 勝沼49 大越 誠
 勝沼200 三枝不二太郎
 西多摩村羽190 横田静蔵
 羽569 加藤シゲ
 羽1230 坂本順三
 箱根ヶ崎村273 荻野義一
 188 江藤 貢
 石畑村207の1 石畑診療所 吉良元成
 福生村636 山田正礼
 福生村1678 横田寿一郎
 横田寿照

先生は前回記載した如く戦後の昭和22年に設立された社団法人西多摩医師会の初代会長で、家業を継承されるまで慈恵医大で教鞭を取られてた関係で小泉、田中浩哉、大河原先生方は先生の講義を聴かれておられます。

先生は産婦人科がご専門であられたので、異常分娩時の鉗子分娩には定評があって、近隣の助産婦は異常分娩の時には必ず先生のお力添えにあづかっている。慈恵医大学長をなされた石川光照先生とはおいとこさんであった。

熊川村621 江藤 貢
 (出張所)
 東秋留村二宮1255 遠藤芳三郎
 西秋留村組合病院 川瀬純三
 (現在の阿伎留病院の前身)
 平井村1264 菊池卯太郎
 増戸村伊奈1508 坂本富雄
 五日市町五日市82 今川定次郎
 五日市71 野口自然
 五日市114 深沢誠一
 小宮村乙津1978 栗原庄三郎
 栗原憲式

先生は栗原琢磨氏の父栗原正吉先生の兄上で坊主頭で何時もニコニコされ、姿勢も正しく、物事に対する判断が適正で公平無私でした。医師会の役員も長くなされ、総会に於ける議長は感服するばかりで、名議長ぶりが想い出されます。

戸倉村201 村立病院 明石 昇
 大久野村浅野セメント西多摩工場内医院
 北村一郎

以上38名の先生方が昭和13年10月の西多摩郡医師会名簿に記載されているが、次の先生方は記載されていない。

箱根ヶ崎村 高水武夫

先生は昭和11年9月に西多摩医師会に入会したが、昭和12年軍隊に入隊の為め一時開業を中止しているため、入隊解除後昭和14年に再入会されてる関係で、先生御逝去の弔辞には先生が再入会した時を以て西多摩医師会々員になっているが、ここに訂正しておきます。

五日市町五日市1513 横田 実
 平井村1264 菊池 信
 (菊池卯太郎氏子息)

お2人の先生の西多摩医師会は昭和13年の11月5日になっている。

以上から昭和13年時の会員総数は41名であったと思う。

次ぎに昭和13年の西多摩医師会役員並に委員は

会 長	大河原由蔵
副会長	横田 静蔵
常任理事	大越 誠
" "	横田 寿照
理 事	笹本 義広
	山田 正礼
	江藤 貢
	栗原 憲式

西多摩郡医師会医政調査部

部 長	野口 自然
幹 事	大越 誠
委 員	横田寿一郎
	鈴木隆之助
	菊池卯太郎
	中村重四郎
	坂本 富雄
	近藤藤三郎

健康保健部
 部長 鈴木 達三
 理事 山田 正礼(庶務)
 福田 実(経理)
 三枝欣次郎(審事)
 審査員 横田 静蔵
 笹本 義広
 山田 正礼
 野口 自然
 近藤藤三郎

東京府医師会代議員
 大河原由蔵
 坂本 順三
 予備議員 百瀬 眞澄
 野口 自然

西多摩医師会事務所
 青梅町勝沼89 大越 誠方

西多摩郡医師会健康保険部事務所
 青梅町青梅58 笹本 義広方

西多摩の眼科 (その二)

青梅市 後 藤 伸

明治期、天皇陛下北陸御巡幸の際沿道に迎える住民に目を患らう者の多いことに気付かれた陛下は御内帑金を下賜され、日本トラコーマ協会の設立となりその活躍は昭和30年代まで行われた。不況の日本から洋上数十日をかけて辿り着いたブラジル移民が、トラコーマの為上陸を拒否される。石川達三の出世作「蒼芒」を記憶される方も居られるであろう。眼科の巡回検診はトラコーマ検診とも言われた。

ところがテトラサイクリン系点眼薬の出現は、恐らく数百年にわたって我国失明原因第一位であった筈のトラコーマを、殆んど10年位で駆逐していった。私が最後に見たトラコーマ肉様パンヌスによる失明患者は20数年前で、山梨県側から障害年金の為の診断書を求めて来た眼科初診のお婆さんだった。現在学校検診でもトラコーマとはっきり云える子供には出遭わない。

私より一廻り以上年上の先輩が公立病院を定年で辞められる時話して居られた。「眼科の開業は何も金目なもの無いよ。我々が教室で習ったことは硫酸亜鉛と硝酸銀とアトロピンとピロカルピンの使い方位のものだからな。」

「レッドアイからホワイトアイへ」当時眼科で云われたこの言葉を私は好まない。デパートの営業ターゲットを「中高年層より独身貴族のOLへ」とのキャッチフレーズを連想させるからである。

が、好むと好まざるに拘わらず対象疾患は変り当然診療内容も変った。

変化の主役は有効な抗生物質の開発と手術用顕微鏡の出現である。私の恩師が入局された頃昭和10年代初頭は大学ですら白内障の手術に術後感染が屢々起り摘出を余儀なくされる事も珍しくなかったと伺った。サルファ剤すら不十分の頃である。昭和24年私が入局した頃でも水晶体摘出の為の角膜創は自然癒着を待つ為頭の両側に砂袋を置き1ヶ月間の入院が必要であった。感染を少なくする為手術時間も短くする努力が拂われ、日本眼科学会雑誌第1号に発刊者大西克知教授は1分間で術を終えたとある。

因みに昭和20年代大学病院の入院患者で最も多かったのは青年性反覆性網膜硝子体出血(当時結核性とされて居た、現イールズ氏病か)で視力回復せぬまま諦めて退院してくれるのを待つ状態であった。

当時教室では在局満5年を経なければ白内

障手術をさせては貰えなかった。出張先で密かにカプセルピンセットによる当時新法の水晶体全摘出を行い太い絹糸（5～0位か）で一糸角膜縫合を終えた時は天にも昇る心地であった。

大学でこそツアイスの細隙燈はあったが眼底カメラは無く各大学眼科には眼底スケッチの出来るお抱え絵師が居た。教室を出て就職する場合細隙燈のある所と云うのが自分の条件であったがそれは現在硝子体手術可能の病院より少なかった様に思う。しかも当時の国産細隙燈たるや極めてお粗末で且故障の多いものであった。コンタクトレンズが順天堂と名古屋で行われ始めて居た頃である。

昭和38年国際眼科学会でアジアで初めてインドのニューデリーで行われ、先輩に勧められて参加した。厳しい外貨制限で日本からは40名位、8年後のメキシコシティに1,000名以上参加したのに較べて日本の経済成長の歩幅が伺われる。円卓のディスカッションで夫々話すのは英独佛西の母国語であるが聞く方は全部理解されて居る様であり、何も判らないのは私と同僚の日本人二人位かと思った。

原稿を英語で読んだ某教授が他に通じないらしく座長に中止を命ぜられたのが気の毒であった。

昭和45年、メキシコシティでの国際眼科学会にはツアーを組んで大勢で参加した。東京からだけで100名以上だったと思う。メキシコ、ブラジル等中南米諸国の眼科は尚質素で当時自分の所にもあったバラッケ型の小さいツアイス手術用顕微鏡を宝物の様に説明する大学もあった。

昭和48年、世界最大の眼科開業医のバラッケが4年に1回開く研究会に友人と二人バルセロナに出掛けた。階段教室の下にある防塵防音のフードの中で次々と運び込まれる患者を術者は座ったまま、両手両足を使って手際良く捌いて行く見事さに感嘆した。術中バラッケは英語フランス語スペイン語と3分の一位置づつ言葉を替え見学者にマイクで説明するのであるが何れも判らぬ自分が悲しかった。病院から4 km離れた学会会場で手術生中継の

テレビがあり、それまで編集されたフィルムしか見たことの無い吾々には驚異だった。

初めて見るトラベクトミー（隅角線維柱帯切除術—緑内障の手術）を何の手術だろうと友人と訝かしがったが数年後には日本でもポピュラーな手術になった。術中硝子体脱出のハプニングがあり何とか旨く取押えて縫合を終った時思わずグラシャスと云った言葉が親しみを覚えさせた。

その昔マルコポーロを送り出した女王様のお城で華やかな学会懇親会が行われたが何と8時から午前2時までで翌日は定刻午前8時から又学会である。白人のタフさに感心させられた。

展示場で人工水晶体があり数社から様々のデザインがあった。友人と二人、除いた水晶体のあとに異物を入れるなんぞ天を畏れぬ所業と、あまり良く見もしなかった。ここらが愚人たる所為でありそれ以前勉強してなかったからでもある。

別な友人は二年後のパリ国際学会で初めて人工水晶体に出遭い、帰国後直ぐアメリカの発表者の許に手術見学に行っている。先年日本医師会より最高功労賞を授与された。

これより前、昭和33年新潟で眼科学会総会があった。ケールマンと云う小さなアメリカ人が水晶体を超音波で突き崩し乳糜化して吸い取ると云う。眉唾ものだと思った。学会の公式演題でもなく佐渡観光の行事と重なって居り躊躇うことなく私は後者を選んだ。

その超音波水晶体破碎術（KPE）の器械は漸次改善され、昭和40年代末には安全性も確立され世界中に拡まった。我が国でも別な考え方による器械が試作されたが副作用が強く普及しなかった。水晶体核摘出のみに就いて云えば、従来11mm前後の角膜輪部切開が3mmで充分であり（全周は24mm）これは1753年ダビエル以来続いて来た白内障手術を一変させるものである。新しい機材を導入し術技も身につけるか、以後白内障手術を止めるか。多くの眼科医が二者択一を迫られた。

昭和49年から可能な限りKPEと人工水晶体の講習見学に出掛けた。都内は勿論大阪京

都倉敷福岡、何故か東京より関西九州の方が早くから盛んになって居た。ハワイの講習、実習に数回、サンフランシスコ、ロスアンゼルスへも見学に行き多くの友達と識り合った。

K P E を購入夜遅くまで豚眼で練習、昭和55年にK P E 第1例、昭和57年に人工水晶体第1例を入れることが出来た。

この間昭和56年に作家の曾根綾子さんが名古屋保健衛生大学でK P E の手術を受け、人間の顔が斯んなにも美しいものと思わなかった、と視力回復の喜びを述べられた。又作家吉行淳之助氏は昭和59年武蔵野赤十字で手術を受けられ体験記「人工水晶体」を発売、両眼科共直後に一年以上二年間分の手術希望が殺到した由である。

初めて人工水晶体の移植をすることが出来て手の振り足の舞う所を覚えぬ程嬉しかった

のは僅々9年前である。それが現在大学医局では零入局3年までのカリキュラムに組み込まれて居るとか。医療進歩も亦無常迅速である。

くたくたく自分のことを述べたが私共年代眼科医の歩んだ平均的ステップであろうかと思う。

その他レーザーの進歩、不可触とされて居た硝子体への手術等10年で大きく様変わりして居る。

現在西多摩の眼科は公立病院3、開業9常勤眼科医師14名、入院手術を行う医療機関6で夫々最新設備を具えて居り都内眼科医会に較べ高い水準であると思われる。眞鍋眼科医会長の御努力とお人柄により一同親睦の実を挙げて居ることを誇らしく思う。

— 以 上 — H 3 . 11 . 20



お知らせ

お知らせ

院外処方を実施されている医療機関は下記のような審査状況ですので、ご留意願います。



処方箋による調剤に係る診療報酬請求に対する
審査申出の状況

平成4年1月審査

審査申出事項	被保険者数
処方箋の内容と異なる調剤を薬局が行っていると思われるもの	2 人
処方箋の内容に疑義があると思われるもの	2,264 人

平成4年3月迄の日程(予定)

(1月21日現在)

1月

- 21日(火) 定例理事会
24日(金) 三多摩ブロック代議員連絡会(北多摩医師会)

2月

- 1日(土) 「医療懇」(Pm1:00「羽村魚観荘」)
4日(火) 経理部会(平成4年度予算について検討)
8日(土) 保険整備会
10日(月) 定例理事会
12日(水) 法律相談日
14日(金) 学術講演会(於て 西多摩医師会館)
15日(土) 第43回日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会
(於て 府中グリーンプラザ・ケヤキホール)
19日(水) 会報編集委員会
21日(金) 都医地区医師会長協議会(於て 東京都医師会) 西村会長
25日(火) 定例理事会
27日(木) 経理部会(平成4年度予算)

3月

- 7日(土) <役員及び医道審議会委員選出通知発送>(注1)
9日(月) 保険整備会
9日(月) 定例理事会(平成4年度予算及び事業計画の承認を得る。)
10日(火) 学術講演会
11日(水) 法律相談
16日(月) 臨時理事会(注2)
19日(木) 東京都医師会代議員会及び定時総会(於て 日本医師会)
19日(木) <総会資料発送>
20日(金) 会報編集委員会
24日(火) 定例理事会(定時総会全般について)
27日(金) 「診療報酬改正」講習会
28日(土) 「平成3年度定時総会」 Pm2:00(西多摩医師会館)

(注1) (定款施行規則第48条 理事会は、総会の20日前までに、文書により、会員に対し地区
における選出を通知し、選任に関して告示しなければならない。)

定款施行細則第51条 各地区は、それぞれの方法により、当該地区の定数を選出する。

2 各地区長は、理事会に対し、定められた日時までに、選出された者の氏名を届けなければならない。)

(注2) (定款施行細則第53条 理事会は定時総会までに、選出された全理事及び全医道審議会
委員を招集し、現職理事立ち会いのもとに、下記役職を下記方法により選出する。)

- (1) 会長候補者 選出理事の互選
(2) 副会長候補者 会長候補者の指名
(3) 医道審議会委員長候補者 選出委員の互選
(4) 同 副委員長候補者 委員長候補者の指名

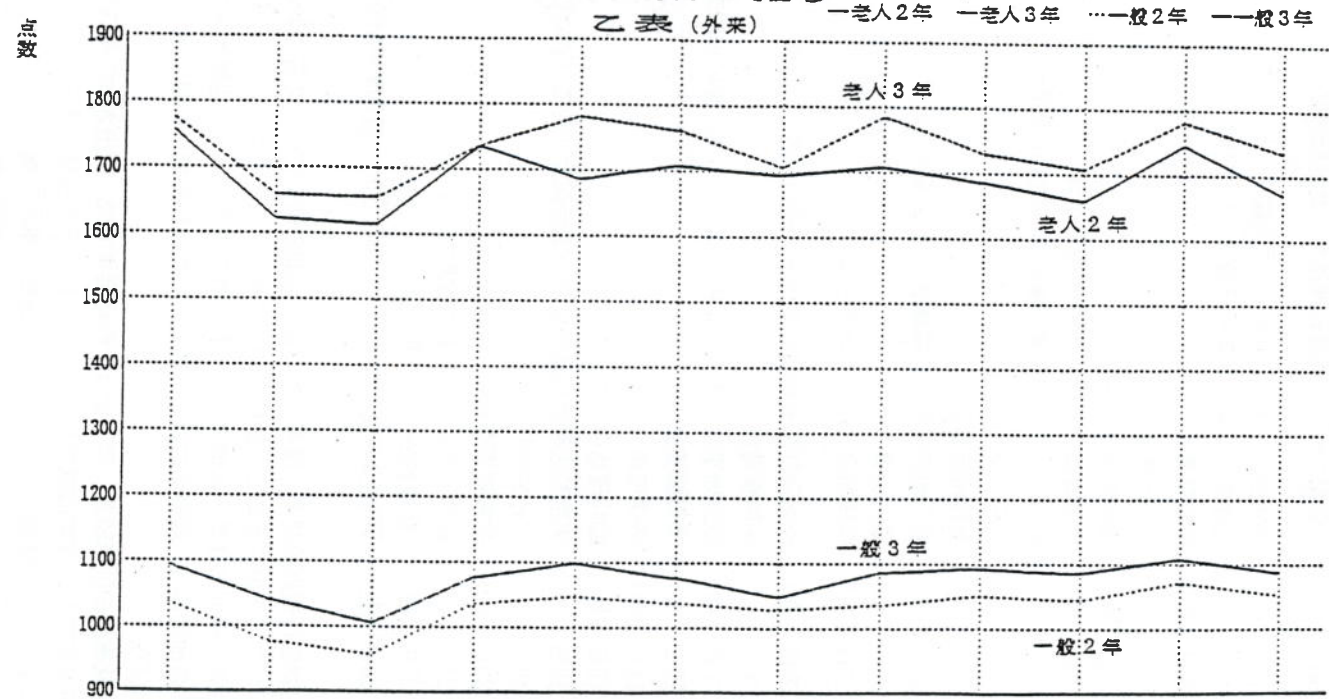
2 上記の立ち会い理事は、理事会に対し、定められた日時までに、文書をもって、選出された者の職掌、氏名を届け出なければならない。)

国保診療点数の概況について

平成2年、3年度の国保診療点数の平均は、下記のようになっておりますので
ご参考までにお知らせいたします。

平均点数の推移

乙表 (外来)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
老人2年	1756.2	1622.4	1614.5	1735.7	1686.2	1708.0	1695.2	1707.5	1686.6	1658.7	1746.3	1671.2
老人3年	1775.8	1658.5	1656.9	1736.4	1781.3	1761.8	1706.3	1785.4	1730.6	1707.9	1782.0	1735.2
一般2年	1037.2	977.0	957.9	1036.6	1047.4	1038.2	1028.7	1036.9	1050.7	1045.1	1071.2	1053.2
一般3年	1093.3	1040.1	1006.9	1077.3	1097.9	1076.5	1048.7	1086.6	1092.4	1086.1	1107.7	1087.7

毎季月

お知らせ

平成4年度（平成4年4月～同5年3月）各月の保険請求書類提出日は
下記のとおりです。

平成4年度診療報酬請求書 提出日一覧表

平成4年

4月提出日（3月診療分）	4月8日（水）正午迄
5月提出日（4月診療分）	5月7日（木）正午迄
6月提出日（5月診療分）	6月8日（月）正午迄
7月提出日（6月診療分）	7月8日（水）正午迄
8月提出日（7月診療分）	8月8日（土）正午迄
9月提出日（8月診療分）	9月8日（火）正午迄
10月提出日（9月診療分）	10月8日（木）正午迄
11月提出日（10月診療分）	11月9日（月）正午迄
12月提出日（11月診療分）	12月7日（月）正午迄

平成5年

1月提出日（12月診療分）	1月7日（木）正午迄
2月提出日（1月診療分）	2月8日（月）正午迄
3月提出日（2月診療分）	3月8日（月）正午迄

- （注）1. 社保支払基金及び国保連合会が土曜日週休のため5月と平成5年1月は7日となりますのでお間違えのないようご留意願います。
（12月は年末のため7日となります。）
2. 整備委員会は同日午後開催いたします。

お 知 ら せ

3月（2月診療分）の
保険請求書類提出日
 3月9日（月）
 — 正午迄です。 —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
 毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
 ご相談下さい。

- ◎ 相談日 2月は12日（水）
 3月は11日（水）の予定です。
- ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
- ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

医師会日誌

医療機関数 176 病院 27
 診療所 149
 会員数 334 A会員 169
 B " 165

会議

1月14日 自治体首長代表との昼食会
 16日 学術部委員会
 18日 4年新年賀詞交歓会
 20日 会報委員会
 21日 理事会

講演会・その他

1月8日 整備会
 " 法律相談

役員出張

1月17日 都医会長会
 20日 在宅難病患者訪問診療に係る連
 絡協議会
 24日 三多摩ブロック医師会代議員会

会員通知

- 平成3年度第2回成人病検診従事者講習会
- 心身障害者医療費請求書（社保用）及び老人保健法一部負担金請求書の一部改正について
- 第25回准看護婦卒後教育講習会の開催について
- 会報
- 都特殊疾病（難病）患者の診療手引
- 特殊疾病（難病）患者の治療及び生活指導の手引

訃 報

福生市福生1005
福生産婦人科外科医院

池 田 聖 先生

大正15年9月6日生
享年65才



平成3年12月23日 午前8時57分「脳内出血」のため急逝されました。
告別式は12月25日午前11時よりご自宅に於て奥様久子様を喪主となり執り行なわれました。
謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

訃 報

五日市町五日市71
野口眼科医院

野 口 幸 子 先生

明治43年4月22日生
享年81才

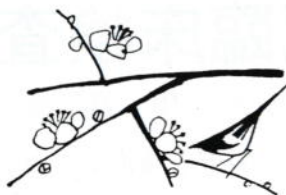


平成3年12月30日 午前8時50分「心不全」のため逝去されました。
告別式は12月31日午後1時よりご自宅に於て長女の清美先生が喪主となり執り行なわれました。
謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

§ § § 表紙のことば § § §

石井好明

毎日見ている大岳山、6回登った大岳山、もうちょっといい格好してたらなぁと思う大岳山ですが、時と場合によっては、立派に見えます。ある年の春の朝、病院構内にあった医師住宅の雨戸をあけると、目の前に雪化粧した大岳山の威容がありました。あれから25年、医師住宅は跡形もなく駐車場のコンクリの下になってしまいましたが、この時ほど荘厳に見えた大岳山はありません。(1967年3月：青梅市立病院構内から撮影)



あ と が き

小机敏昭

最近、貿易摩擦が大問題になっている。一体何でこんなに貿易収支がアンバランスなのだろうか。自分の身の回りをみても、日本製品がほとんど。あっ、聴診器は米国製でした。これは確かに日本製よりもよく聞こえる。耳にも良くフィットし、使いやすい。良い物ならどこの国で作られようが買うということだろう。日本はほとんどの製造品を外国のまねをして、上手に作ってしまう。それも高品質の製品を大量に作り、安く売るのが得意だ。

平成4年2月1日発行

発行所 (社)西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103
TEL (0428)23-2171(代)

会報編集委員 真鍋 勉

石井好明 小机敏昭 小林杏一
田代 洋 玉木一弘 堀田洋夫
道又正達 百瀬眞一郎 渡辺良友

印刷所 マスダ印刷 TEL (0428)22-3047

健康の輝きをひろげる。



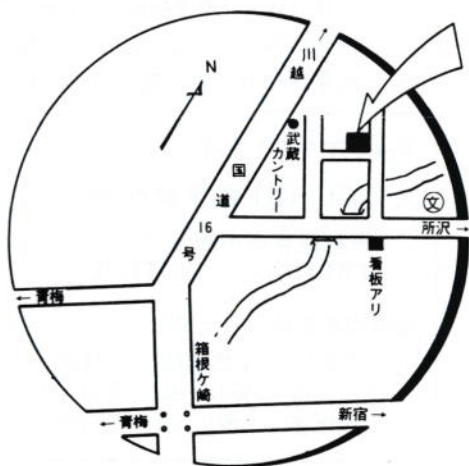
BML

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社 〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL 03-3316-0111(代)
総合研究所 〒350 埼玉県川越市朝日1361-1 TEL 0492-32-0111(代)

期待と信頼にこたえて23年!!

検査のことなら**武蔵臨床**へ 電話一本緊急検査に応じます
学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

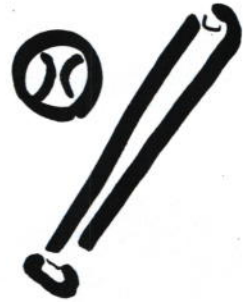
埼玉県入間市上藤沢 3 3 9 ~ 1

TEL 0429 (64) 2621(代)

応援します!

ひとりひとりの笑顔めくらし。

1打席1打席、つねにその瞬間を大切にしながら確実に
得点に結びつけていく。みんなで力をあわせて——。
そこに笑顔がひろがって、さらに大きな力になります。
たましんは、そんなみなさまの暮らしの
応援団になりたいと思います。



だから

[ファミリー・リーグのたましん]



R ETAIL BANK
人と人のネットワーク

協和埼玉銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代) 〒198	青梅市東青梅2-17-4
奥多摩 特別出張所	TEL.0428-83-2515(代) 〒198-02	西多摩郡奥多摩町氷川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代) 〒198	青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代) 〒198	青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代) 〒197	福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代) 〒190-12	武蔵村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代) 〒197	秋川市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代) 〒190-11	西多摩郡羽村町五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代) 〒190-01	西多摩郡五日市町五日市840-1

自然のめぐみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒
(医療用)128品目+3品目により、
高齢化社会の深まりつつある現実の
治療に貢献しつつ、
漢方製剤の科学的な実証を通じて、
21世紀に至る長寿社会の治療手段と
しての役割をはたしていきたいと
願っております。

 株式会社 **ツムラ**
東京都千代田区二番町12-7 千102

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本 社 千240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)

仙 台 支 社 千983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)